



## 医学研究科共同研究教育センター

設置目的：医学研究科内の共用機器を1カ所に集め、集中的に管理・運営し、機器の効率的利用を図る

構成：研究棟1階：形態研究室 研究棟2階：分析研究室  
業務：各種セミナーの開催や操作が難しい機器のオペレート、分析結果の検討、前処理の紹介など各種研究支援を行っています。  
初めて利用する際は、必ず事前に下記までご相談ください。

☎ <分析部門>川澄8103 大島技師 <形態部門>川澄8104 高瀬技師

HP [www.med.nagoya-cu.ac.jp/core.dir/index.html](http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/core.dir/index.html)

## 機器紹介 マルチプレックスシステム (BioPlex200)

概要：マルチプレックスシステムとは、多項目の生体分子を同時測定するマルチプレックスアッセイシステムです。

設置場所：医学研究科・医学部 研究棟2階 機器分析室2

性能：微量サンプル（血清ではわずか15uL！）から最大100種類の生体分を同時に測定することができます。  
ELISA法に比べて、複数項目を同時に行えるメリットがあります。  
各種疾患メカニズムの解明、治療薬の薬効評価、バイオマーカー探索等の領域で豊富な使用実績があります。

- <専用試薬ラインアップ>
- ・サイトカイン、ケモカイン、成長因子、増殖因子
  - ・疾患パネル
  - ・腎毒性パネル
  - ・アイソタイピング
  - ・細胞内シグナル（リン酸化、アポトーシス）



利用料  
7,500円/回

現在152機器が  
共用機器に登録  
されています

## 共用機器センター事務局より

マルチプレックスシステムは、研究室から供出して頂き、今年度から全学的な利用が可能となった機器です。今後、このような共用機器を増やし、効率的な機器の運用を推進していきます。共用機器一覧はこちら▼▼  
<http://202.35.209.27/resources/>

## 問い合わせ

共用機器センター（事務局学術課内）  
〒467-8601  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地  
☎ 川澄 8104（山田） 川澄 8041（高木）  
✉ [ncu\\_kyoyo@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:ncu_kyoyo@sec.nagoya-cu.ac.jp)